

グローバルエンゲージメント推進統括部 (GE) のご紹介

富士通株式会社

ジャパン・グローバルゲートウェイ
グローバルエンゲージメント推進統括部

グローバルエンゲージメント推進統括部（GE）とは

- ①グローバルメンバー（GDC）と
共業するための施策づくり・推進をするチームです。
- ②組織・プロジェクト・人を繋ぎ、
JGGの施策を成功に導く“重要な糸”です。

メッセージ（組織について）

富士通グループの武器 = 国内・グローバルのSEリソースの可視化に挑むJGG

これまで富士通の強みといえば、お客様ごとの個社対応でした。

ただし、個社対応は強みでもあり同時に弱みにもなります。

私自身、フィールドのSEだった頃は、個社対応が是とされていましたが、新しいテクノロジーが次々に登場しお客様の要望も高度化している今、個人の知識や経験、スキルだけではお客様の要望に応えきれません。

この課題に対し、富士通としての全体最適を実現するべく、シェアードサービスによる標準化、リソースプール制度を採用し、デリバリー改革の中核をなすのがJGGです。

当初、40名でスタートしたJGGは、2021年4月に1,500人、2021年10月には業種BGのデリバリーチームであるIndustry Technology Service Unit（ITS）とSI系グループ各社からのメンバーが加わり3,800人に拡大しました。

さらに2022年4月には国内7,000人となり、海外拠点7,000人を合わせると合計14,000人のリソースとなります。JGGは、グローバルにSEの英知を結集し、SEの技術レベルや経験、実績などを可視化し、活用に向けた取り組みを進めています。

これまでの最適な人材を探し出せないという課題に対し、JGGではPalantirを活用しています。以前なら知り合いのつてなどを頼りにせいぜい100人の中から探し、探せない場合は外部パートナーに依存していました。内製化率を高め富士通グループ内に知見を集約していくために、グローバルを含む富士通グループのSEからプロジェクトに適した人材を素早くアサインできるしくみを作りました。

現在、エンジニアのアサインメントをエンタープライズITS統括部で実施し、「リーチできなかったところに、スキルをもった人材がいた」という発見や、availableで最適な人材を見つけるタイムラグが早くなったなど、結果が少しずつ見えてきました。

今後、グローバルオファリングやハイブリッドITなどの富士通の技術戦略に合わせて、人材の可視化やスキルアップも計画的に行い、ビジネス機会にマッチした人材をプロジェクト側に供給していきます。

そうすることで、適切な要員配置が可能になり、今まであきらめていた領域の案件も提案が可能になります。さらに今後、Oneデリバリーに向けてJGGに主要プロジェクトのマネジメントも集約・一体化していき、よりデータに基づいた意思決定のスピードを速めていきます。

JGGの中で、グローバルイゼーションや標準化の意識が高まってきている一方で、これまでと異なるやり方に悩んでいる方も少なくありません。そういった方も含め、まずは、JGGの一人一人が、働きがいと高め、キャリアパスを描けるように「Great Place to Work」という活動も同時に力を入れています。

これまでSEは、所属する部署のプロジェクトにしか参加できず、組織の中でキャリアパスが形成されてきました。今後は、JGGの中で自分のキャリアを考えながら、挑戦したいプロジェクトに手をあげることも可能になります。

みなさん、失敗を恐れず、デリバリー変革の実現と一緒にチャレンジしましょう。みなさんが挑戦した結果を蓄積していくことで、ITサービスデリバリーにおける「グローバルベストプラクティス」を作り上げることができる、そう信じています。

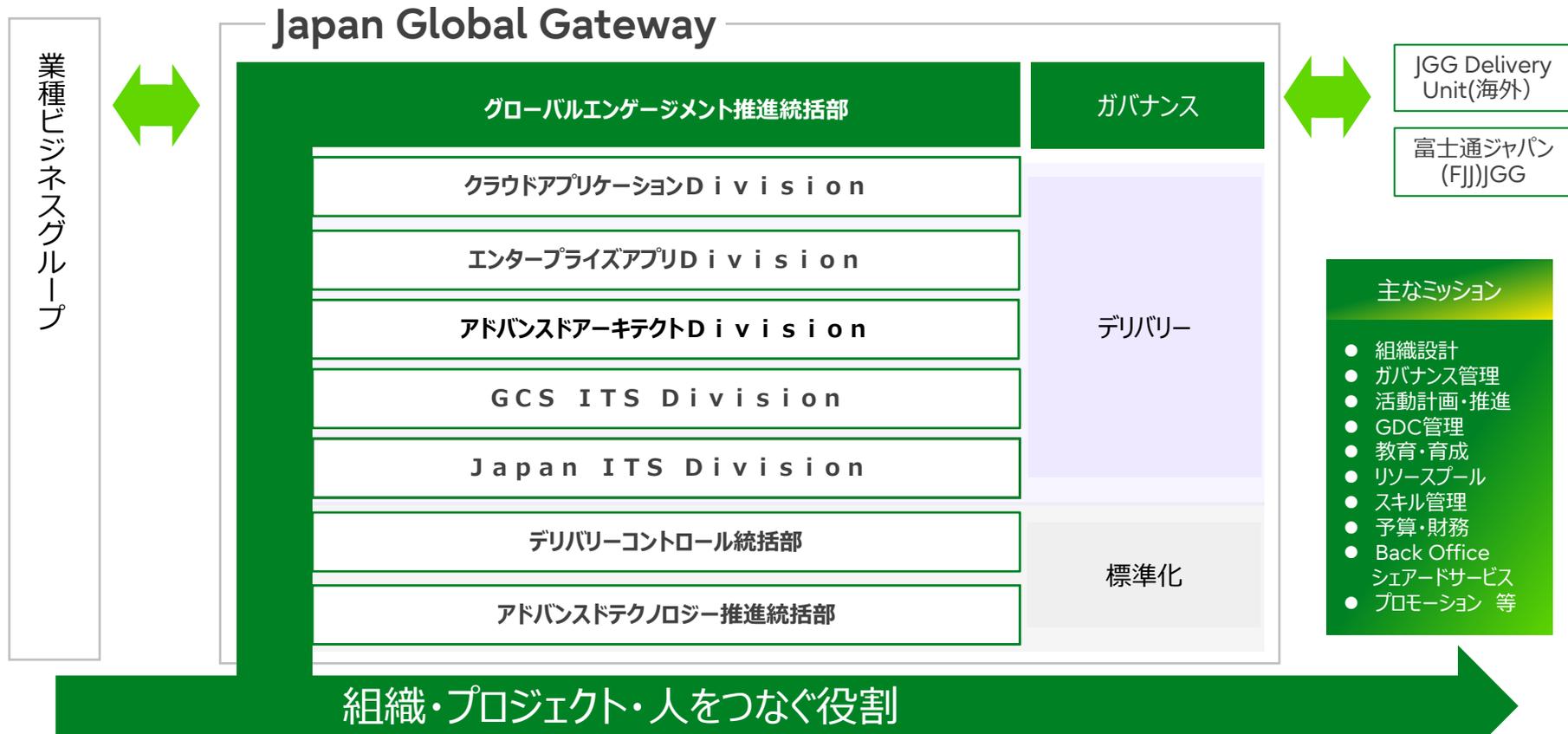
会社全体の戦略に連動してデリバリーの要員戦略を立案し、経営層・各部門長とのコミュニケーションを取っていく、チャレンジングな組織です！



ジャパン・グローバルゲートウェイ（JGG）
本部長代理
（兼）グローバルエンゲージメント推進統括部長

齋藤 伸一

組織ミッションと位置づけ



各グループの主な業務内容

■ 多岐にわたる業務内容

事業企画グループ

事業計画立案・推進



- ・ ビジネスプラン策定・維持
- ・ ファイナンスマネジメント
- ・ GDC全体計画管理 等

プロモーショングループ

戦略的プロモーションの企画・立案・実行



- ・ 情報を可視化、全社へ発信
- ・ WEBプロモーション
- ・ 各種イベント企画 等

BPSグループ

バックオフィスサービス・シェアードサービスの提供



- ・ バックオフィス機能を集約
- ・ 翻訳・通訳サービス提供
- ・ GDC共業制度の運営 等

事業戦略グループ

国内業種ビジネスグループ(BG)連携



- ・ JGG/BG双方の戦略の同期をとり各種施策推進
- ・ BGへの提案・提言
- ・ 経営会議の企画・運営

商談・リソースコントロールグループ

JGG/GDCの商談・リソースコントロール



- ・ 商談対応 (JGG窓口)
- ・ リソースアサインメントシステム運営、システム改善提案
- ・ デマンド・リソース情報からJGG施策提言(育成等)

DX推進グループ

DX実践によりリソース・スキル情報を可視化



- ・ リソースアサインメントシステム開発
- ・ ダッシュボード開発、運用
- ・ パイプライン管理システム運用 等

Global Delivery Centerとの連携

JGG Delivery Unitの運営
(インド・フィリピン・マレーシア・中国)



FJJ-JGGとの連携

FJJ内、JGG組織の戦略立案・運営・シェアードサービスの提供



得られる経験と求める人材

グローバルで活躍できるビジネスパーソンを目指したい方へ



Global Mind

インド、フィリピン、マレーシアと、中国といったGDCと常時連携して業務遂行するため、グローバルダイナミズムを経験できます。



Management Skill

データ分析、戦略分析をグローバルな視点で実行。グローバル人材と共業した様々な施策のマネジメントが学べます。



Challenge

関係者、周囲を巻き込む人間力が重要です。しかし、一番、大切なのは「やってみたい」その想いです。

